



くらたくらぼい ぼんぼん

●ぶん●
なかがわあきら

●え●
ひじみえ



つめたかったね。

雪ゆきが消きえ、

みんな うれしくて、

こころ あたたかになった。

野良のらだったぼくは きょうも、

やさしいご主人しゅじんと さんぽ。

いつもの道みちを はずれて、

ご主人しゅじんを ひっぱっていく。

見みつけた見みつけた、

くりくり坊主ぼんず つくしんぼのあたま。

ゲンゲも タンポポも、

なづなも 母子草ははこくひくも ふきのとうも。

みんな いまはじめての 出で会あい。

ずっと つづいてきた いのちとの、

ふしぎな 出で会あい。

声こゑをかけあって うれしいね。

あたたかな ひかりと、

やわやわとした風かぜに よばれて、

みんな いま 生うまれてきた。





いのち つづいていたんだ。
 草も 花も 木も、
 小さな生きものたちも、ぼくも。

みんな、
 春をまっていたんだ。

いのち こだましている、
 うれしいね。

ひかりに つつまれ、
 ひかりに 願われ、
 いま みんな たったひとつの、
 わたしのいのちを 生きる。

いのちあるもの すべて、
 いのち ひとつにつながり、
 生かされてある いのちを、
 生きる。

ほこほこ と。